

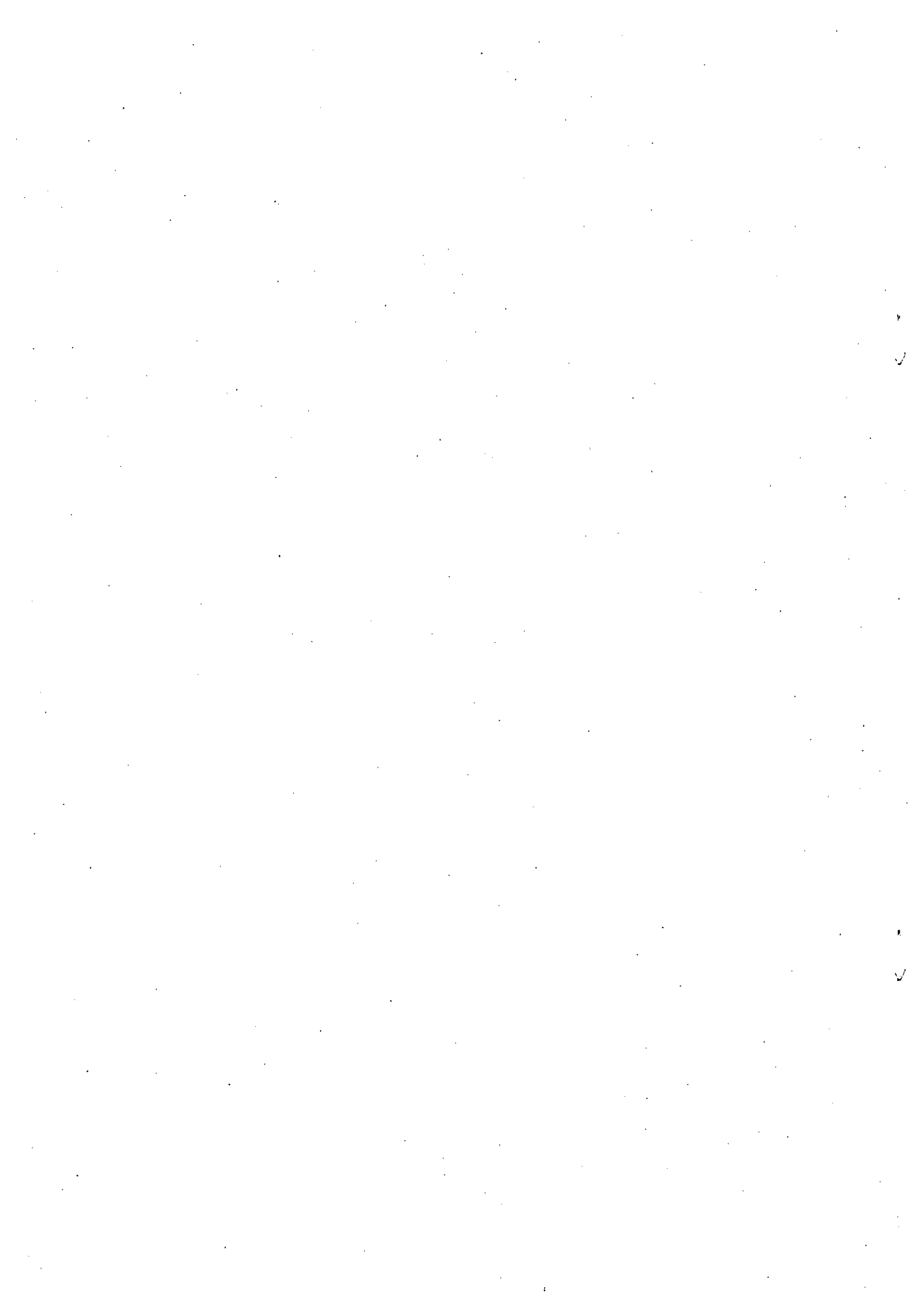
総務教育常任委員会資料

(平成30年3月20日)

〔件名〕

- ・不活動宗教法人に係る調査結果について【行政監察・法人指導課】・・・1
- ・鳥取県立布勢総合運動公園（コカ・コーラウエストスポーツパーク）
の愛称変更について【財源確保推進課】・・・2
- ・専修大学との就職支援に関する連携協定の締結について
【東京本部】・・・3
- ・関西圏の大学と連携したUターン就職支援事業の実施状況について
【関西本部】・・・6

総 務 部



不活動宗教法人に係る調査結果について

平成30年3月20日
行政監察・法人指導課

平成29年度に実施した、宗教活動を行っていない疑いのある宗教法人の活動実態調査の結果は次のとおりです。

1 調査の目的・対象

- ・代表者の死亡等により宗教活動を行っていない「不活動宗教法人」を放置しておく、法人格の売買等により第三者に不正取得され、脱税などに悪用される恐れがある。
- ・このため、県に提出が義務付けられている書類（以下「書類」という。）が未提出で、県からの督促文書（書留）が返戻される等、活動実態が把握できず、不活動の恐れがある25法人を平成28年度にリストアップし、調査対象とした。

※平成29年度に新たに連絡がとれなくなったり、書類の記載内容に疑義がある5法人を調査対象に追加し、計30法人の活動実態調査を行った。

2 調査方法

- ・現地で礼拝施設の確認、法人関係者への聞き取り調査、法人登記簿等の調査、電話確認等を行った。

3 調査結果・対応方針

- ・調査の結果、不活動が判明した宗教法人については、継続的に宗教法人と協議を行い、個別の状況に応じた助言・指導を行っているところ。

区 分	法人数	説 明	対応方針
1 活動を 確認した法人	22	現地調査又は電話、書類提出により活動を 確認。	
2 不活動法人	8		
法人存続の意向が ある法人	(4)	代表役員長期不在など、宗教法人としての運営体制が整っておらず宗教活動が停滞しているが、関係者には法人存続の意向がある。	早期の代表役員選任等、法人の運営体制を整え宗教活動を再開するよう指導していく。
法人を整理したい 意向がある法人	(4)	代表役員死亡、檀信徒不在、礼拝施設消滅など、宗教法人としての運営体制・宗教活動がなく、関係者に法人を整理したい意向がある。	代表役員を兼ねている他法人等との合併、又は解散等整理に向けた事務手続について指導していく。

鳥取県立布勢総合運動公園（コカ・コーラウエストスポーツパーク）
の愛称変更について

平成30年3月20日
財源確保推進課
緑豊かな自然課

鳥取県立布勢総合運動公園（鳥取市布勢146番地1）の施設命名権（ネーミングライツ）については平成20年度からコカ・コーラウエスト株式会社とスポンサー契約し、現在まで継続して契約更新していただいているところですが、平成30年1月1日に同社がコカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社に商号変更されました。

これに伴い、このたびの契約更新と併せ平成30年4月1日から愛称を「コカ・コーラ ボトラーズジャパンスポーツパーク」に変更することとなりましたので報告します。

1 スポンサー企業

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社（東京都港区赤坂9丁目7番1号）
代表取締役社長 吉松 民雄（よしまつ たみお）

※ 「コカ・コーラウエスト株式会社」と「コカ・コーライースト株式会社」が平成30年1月1日に合併し、商号変更されたものです。

2 契約内容

金額、期間は現契約と変更無し

- (1) 金額 年額1,000万円（税別）
- (2) 期間 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

3 愛称変更に伴う対応

- (1) 愛称変更に伴い、必要となる看板・道路標識などの修正を進めていきます。
- (2) 除幕式（お披露目式）の日程については同社と調整中です。

【参考：県内自治体のネーミングライツの状況（3月20日現在）】

施設名	愛称	自治体名	スポンサー企業	契約期間 <更新含む>	年間 契約額
鳥取県立布勢総合運動公園	コカ・コーラウエストスポーツパーク	鳥取県	コカ・コーラウエスト(株)	H20.4.1~ H30.3.31	1,000万円 (税別)
鳥取県立県民文化会館	とりぎん文化会館	鳥取県	(株)鳥取銀行	H20.4.1~ H32.3.31	1,500万円 (税別)
鳥取市営サッカー場	とりぎんバードスタジアム	鳥取市	(株)鳥取銀行	H20.4.1~ H32.3.31	300万円 (税別)
米子市営東山運動公園	どらやきドラマチックパーク米子	米子市	丸京製菓(株)	H20.11.1~ H34.3.31	200万円 (税別)

専修大学との就職支援に関する連携協定の締結について

平成30年3月20日
東京本部
雇用人材局就業支援課

県出身学生等のIJUターン就職を推し進めるとともに、鳥取県の次代を担う人材の育成及び確保を図るため、このたび、専修大学と就職支援協定を締結することになりましたので、報告します。

今後、大学と連携しながら、鳥取県への就職に関する情報等の提供やUターン就職を促進するためのイベント等の取組を進めていきます。

※大学、県、(公財)ふるさと鳥取県定住機構による3者協定。なお、首都圏では今年度、中央大学・明治大学に引き続き3校目の協定締結

1 協定日時・場所

平成30年3月20日(火) 14時から 専修大学神田校舎

2 連携・協力事項

- ア 学生に対する鳥取県内の企業情報、各種イベント等の周知
→大学のポータルサイト等による情報の配信、学内就職支援窓口への各種情報(パンフレット、チラシ類)の配架・掲示、学内掲示板への掲示(パンフレット、チラシ類) など
- イ 学内で行う就職相談会等の開催
→学内U・Iターン就職相談会に鳥取ブースを設置して参加
- ウ 保護者に対するIJUターン就職に係る情報提供に関すること
→保護者会・父母会において、鳥取県内への就職に関する説明、情報提供
- エ 学生のIJUターン就職に係る情報交換及び実績把握に関すること
→県の就業支援課が実施する鳥取県出身学生を対象とした卒業人数、鳥取県内就職人数(Uターン)の調査への協力
- オ その他学生のIJUターン就職促進に関すること
→就職支援イベントの共同実施(就職支援セミナー、大学OB・OGとの交流会の開催 など)

3 協定の目的とねらい

首都圏では、大手企業などによる新卒求人が拡大している。こうした動きに対し、地方が若い人材を確保するためには、学生に対し、県内企業等の就職情報や地元で生活することの「良さ」などを周知することが重要である。

このたび、専修大学と就職支援協定を締結することで、大学を通じて学生やその保護者に対し、県内就職に関する情報を提供できること、大学と連携したイベント等で直接学生にUターン就職を働きかけられることは、県内就職を促進する上で大きな効果が期待できる。

4 専修大学の概要

所在地	東京都千代田区神田神保町3-8 (本部: 神田キャンパス)
学部	法学部、経済学部、経営学部、商学部、文学部、人間科学部、ネットワーク情報学部
県出身学生数	1年生9名、2年生5名、3年生4名、4年生4名 計22人

5 本県と県外大学等との協定締結状況

区分	包括協定	就職支援協定
大学名 (締結時期)	<u>明治大学 (H21. 3)</u> 龍谷大学 (H22. 7) 京都女子大学 (H27. 6) 京都産業大学 (H28. 10) ※首都圏で1校締結済み (今後予定) 青山学院大学 (H30. 3. 20 締結 予定)	神戸学院大学 (H26. 2) 立命館大学 (H26. 7) 武庫川女子大学・同短期大学部 (H26. 7) 関西大学 (H26. 11) 同志社大学 (H27. 7) 兵庫医療大学 (H27. 10) 美作大学・同短期大学部 (H28. 8) 神戸電子専門学校 (H28. 9) 神戸女子大学 (H29. 1) 神戸女子短期大学 (H29. 1) 近畿大学 (H29. 6) 大阪商科大学 (H29. 6) <u>中央大学 (H29. 9)</u> <u>明治大学 (H29. 10)</u> ※首都圏で2校締結済み (今後予定) 専修大学 (H30. 3. 20 締結予定 (今回報告分))

6 鳥取県出身学生の首都圏大学への進学状況(学生数上位15校を抜粋 平成29年7月現在)

(単位:名)

	大学名	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度	合計
1	日本大学	22	16	26	26	90
2	明治大学	12	7	17	17	53
3	早稲田大学	15	11	10	10	46
4	東海大学	7	9	10	10	36
5	東京学芸大学	7	12	8	8	35
6	日本体育大学	5	9	9	9	32
7	東京大学	5	12	5	6	28
7	中央大学	5	9	7	7	28
7	創価大学	10	8	5	5	28
10	駒澤大学	4	5	9	9	27
11	筑波大学	3	10	9	4	26
11	帝京大学	4	4	9	9	26
11	法政大学	5	3	9	9	26
14	東洋大学	1	8	7	7	23
15	専修大学	9	5	4	4	22
15	慶應義塾大学	2	7	5	8	22
15	東京農業大学	6	6	5	5	22

＜参考＞大学連携によるUターン就職促進に関する取組状況

1 就職支援協定の締結

- (1) 中央大学 平成29年9月13日 協定締結
- (2) 明治大学 平成29年10月18日 協定締結
- (3) 専修大学 平成30年3月20日 協定締結予定（今回報告）

2 協定校との具体的な取組実施状況（中央大学 明治大学とも共通）

(1) 学生に対する県内の企業情報、生活情報等の周知に関すること

- ・電子メール等による情報の配信
 - 奨学金制度、インターンシップ、ワーキングホリデー、エアサポート事業、首都圏での県等主催の就職関連イベントの案内を電子メールで鳥取県出身学生に情報配信
- ・学内就職支援窓口への各種情報（パンフレット、チラシ類）の配架・掲示
- ・学内掲示板への掲示（パンフレット、チラシ類）
 - 奨学金制度、インターンシップ、ワーキングホリデー、エアサポート事業、県職員採用案内、県内企業ガイドブックの案内の学内配架・掲示

(2) 学内で行う就職相談会等の開催に関すること

- ・学内U・Iターン就職相談会に鳥取ブースを設置して参加
 - 明治大学（12/20）、中央大学（12/1（公務員志望者限定相談会）・1/17）
 - ※中央大学については、協定締結により初めて声がゆかり参加

【主な参加学生の声】

- ・奨学金やインターンシップなどの充実した就職支援制度の詳細情報を聞くことができ、地元就職の気持ちが強くなった。

(3) 学生のIJUターン就職に係る情報交換及び実績把握に関すること

- ・県の就業支援課が実施する鳥取県出身学生を対象とした卒業人数、鳥取県内就職人数（Uターン）の調査への協力

(4) その他学生のIJUターン就職促進に関すること

中央大学の鳥取県出身学生を対象とした就職支援セミナーを実施予定（3月27日開催予定）

3 協定校以外の大学等との連携

(1) 大学が実施する就職相談会の参加状況

首都圏の大学に在学する学生（本県出身者を含む）の、本県へのIJUターン就職・移住定住を促進するため、大学に働きかけを行い、参加可能な大学については学内の就職相談会等に参加して学生の相談対応等を行った。
※静岡大学（5/25）、神奈川大学（6/12、11/7）、青山学院大学（6/21）、玉川大学（7/20）、専修大学（11/5）、高崎経済大学（11/22）、拓殖大学（11/24）、駒沢女子大学（12/4）、東海大学（12/8）、東洋大学（12/9）、帝京大学（12/18）、日本大学（2/20） 計12大学

(2) 学生県人会との連携

首都圏の主要大学の中で県内出身学生が多い早稲田大学の学生県人会と連携し、学園祭で鳥取ブースを出展し、鳥取県のPR（鳥取県の特産品販売等）を行った。（H29.10.15 早稲田大学稲門祭）

【主な参加学生の声】

地元でいたら関心のなかった特産品を知る機会になり、鳥取の食の魅力を改めて実感することができた。

(3) 学生寮との連携

鳥取県学生寮と連携し、寮生に対して就職活動の初期アプローチに必要な知識・情報を提供する「就活セミナー」を開催し、併せてUターン就職の良さについても提示して、早い段階からUターン就職を意識付けた。

①青和寮（女子寮）：H29.10.22実施 明倫館（男子寮）：H29.11.18実施

【主な参加学生の声】

鳥取に帰ることを考えていなかったが、セミナーに参加して、鳥取の企業を調べてみようと思った。

関西圏の大学と連携したUターン就職支援事業の実施状況について

平成30年3月20日

関西本部

関西圏の各協定大学と連携し、県内出身学生を主対象とした就職支援行事（とっとり就職カフェ等）を順次実施（昨年11月～本年2月）し、県内企業の協力を得ながら学生への直接的な情報提供や意見交換を通じて鳥取県内への就職意識の醸成、就職活動に向けての不安解消及び学生・企業等によるネットワーク形成を図った。

1 主な内容（大学ごとに適宜組み替え）

- ・県内企業・団体関係者（とっとり就活サポーターを含む）による業務や日常生活についての説明
- ・鳥取就職・インターンシップのすすめ（公財）ふるさと鳥取県定住機構、県中小企業団体中央会の説明
- ・内定を得た先輩学生との意見交換・交流

2 実施結果

実施日	実施場所	参加企業・団体等	参加学生数 (うち内定学生数)	備考
11/11 (土)	立命館大学	県人事委員会事務局、県教育委員会事務局	6名(2名)	
11/29 (水)	関西大学	(株)鳥取銀行、(株)ケイズ、県人事委員会事務局	5名(2名)	初開催
12/2 (土)	京都女子大学	(株)鳥取銀行、鳥取県生活協同組合、県教育委員会事務局	11名(1名)	
12/12 (火)	神戸学院大学	(株)山陰合同銀行、県医療指導課、県人事委員会事務局	8名(2名)	
1/17 (水)	京都産業大学	(株)山陰合同銀行、中海テレビ放送(株)、県人事委員会事務局	16名(2名)	
1/26 (金)	龍谷大学	(株)鳥取銀行、(株)エッグ、県人事委員会事務局	10名(2名)	
2/1 (木)	神戸女子大学	(株)山陰合同銀行、社会医療法人仁厚会、県社会福祉協議会、県人事委員会事務局、県教育委員会事務局	12名(2名)	初開催
2/5 (月)	武庫川女子大学	(株)山陰合同銀行、大江ノ郷自然牧場、県教育委員会事務局	12名(2名)	学生スタッフ8名も参加
2/27 (火)	関西大学（ふくい・とっとり理工系就職セミナー）	セーレン(株)、福井県工業技術センター、日本セラミック(株)、県関西本部	4名	理工系学生向けに初開催（福井県との共催）

3 参加学生の声

- ・鳥取に戻ってきて欲しいという皆さんの熱意が伝わってきた。就活がんばります。（龍谷大学 3年）
- ・先輩からお話を聞くことができ鳥取の良さを改めて実感した。（神戸女子大学 3年）
- ・就活でまず何をすべきか、また鳥取にたくさんの就職先があることを知ることができた。インターンシップにもぜひ参加していきたい。（武庫川女子大学 2年）
- ・教員だけではなく食品関連企業の若手社会人の参加も望む。（京都女子大学 3年）



・H30.1.17 京都産業大学



・H30.2.1 神戸女子大学